取組事例名 子育て応援商品券の新規発行

団体名 世羅町　所属 子育て支援課
連絡先 子育て支援係　☎ 0847-25-0295　kosodate@town.sera.hiroshima.jp
連携団体等 世羅町商工会

取組の概要　子育て応援商品券の支給による町内の消費喚起

世羅町の子育て世帯（小学 6 年生までの児童を養育している保護者）に対して，第 1 子に 5,000 円，第 2 子に 10,000 円，第 3 子以降には 20,000 円を支給し，子育て世帯の経済的支援と地域における消費を喚起することにより地元商店を活性化させ，地域活動の活性化に繋げる好循環を図ることを目的に，世羅町商工会の商品券加盟店舗で利用できる商品券を支給した。
（※子の区分は児童手当法により算出）

取組の背景　少子化傾向及び地域の経済低迷

世羅町の人口は，平成 27 年 4 月時点で 17,300 人と平成 16 年合併当時から約 1,500 人減少している。年少人口においても過去 10 年間で約 400 人減少しており，地域経済・消費の活気も減退している。
平成 23 年度より保育所・幼稚園・認定こども園の保育料の半額助成や子育て家庭家賃補助事業，乳幼児・児童医療費の助成拡大等の子育て支援施策等を展開してきた中で，中山間地にあっても，近年減少傾向がやや緩やかになってきたと感じる。
しかしながら，子育てをしている保護者は若年層が大半であり，一部の支援だけでは，日常生活等の経済的負担も大きい中，第 2 子・第 3 子と子どもを儲けることはなお困難な社会状況が現実である。

取組のねらい　地域の消費拡大・活性化と子育て世帯応援を同時に実現！

1　町のプレミア付地域商品券である「世羅とくとく商品券」と同時期に子育て応援商品券を発行することにより，地域での消費の拡大及び活性化を推進する。

2　子育て世帯を経済的に支援する。

取組の具体的内容　商工会と連携した商品券の発行など

町では，多子世帯に対しては支給額を大きく設定し，また第 1 子へも子育てしていることへの支援は公平にという観点から，第 1 子に 5,000 円，第 2 子に 10,000 円，第 3 子以降には 20,000 円を支給し，世羅町商工会へ登録された商店店舗において期間中この商品券で買い物等をすることができる。
当該事業は，実施主体は世羅町とし，商品券等の発行・商工会加盟店への募集及び周知・換金補助等の事務作業についての一部を，ノウハウを持つ世羅町商工会へ委託した。

○ 対象児童数：約 1500 人
○ 対象世帯：約 850 世帯
○ 子育て応援商品券：1,500 万円
○ 商工会委託料：130 万円

取組に当たっての課題・問題点　他の申請受付との集中化による混乱

子育て応援商品券の発行を「世羅とくとく商品券」と同時期にすることにより消費拡大を狙ったが，児童手当現況届・子育て世帯臨時特例給付金・子育て応援商品券の申請受付をまとめて行ったことにより受付窓口事務が煩雑となり，保護者も戸惑った。

創意工夫した点　「世羅とくとく商品券」との同時実施

1　事務委託による事業円滑実施
商品券発行等の一部委託することにより，新規事業ではあるが，商品券加盟店舗の募集・周知・換金等に係る事務作業等を円滑に進めることとした。

2　町民への周知
既に 7 年目となる「世羅とくとく商品券」と同時期に同様の利用形態で実施することにより，より身近な事業として，町民へ周知した。

3　町内商店での利用拡大
「世羅とくとく商品券」と同時期に実施することにより，多くの商店が商工会へ加盟され，利用できる店舗が拡大することで，子育て世帯が利用しやすくなり，消費拡大へと繋がった。

取組の成果（効果）　若年層の町内商店での幅広い利用

子育て応援商品券の利用期間を「世羅とくとく商品券」と一緒にしたことにより，商店等の利用者の年齢層の幅も広がり，町内商店で幅広く利用することができた。
また，若年層は町外大型店を利用する傾向にあるが，我が町の商店を利用するきっかけとなっている。

今年度は，各商店が幅広い利用者を獲得するために創意工夫され，独自のサービスを追加するなど，昨年とは一味違った取組をされ，より利用促進へと繋がった。

今後の展開　課題等を改善しながら活用を検討

今後，このような交付金制度が実施されれば，課題等を改善しながら活用を検討したい。

他団体へのアドバイス　地域の特徴を出したサービスを！

1　今年度は地域創生交付金を活用した同事業が全国的に展開され，どの地域でも創意工夫をされた事業が盛りだくさんであった中で，地域としての特徴を出したサービスが求められる。

2　子育て世帯など若い年齢層が利用しやすい店舗登録により，利用拡大に繋がった。